

モバイルビジネス事業者のカンファレンス「mobidec 2005」開催 キャリアからCPまで3G・定額制時代に向けた戦略を語る

2005年11月29日と30日の2日間、秋葉原コンベンションホール(東京都千代田区)で「mobidec 2005」が開催された。新規参入事業者と既存キャリア、コンテンツ・ソリューションプロバイダー、広告代理店など携帯電話関連の多様な企業が一堂に会し、ビジネスの現状と2006年に向けた戦略を語った。講演の一部を紹介する。

既存キャリアのコンテンツ戦略

NTTドコモ

コンテンツ&カスタマ部コンテンツ担当部長の山口義輝氏は、同社の戦略を「リッチ&リアル」と称して講演を行った。FOMAの契約者数は2005年9月末現在で1677万契約、このうち24%がパケホーダイである。PDCよりもFOMAユーザーのほうが情報利用率が高く、1人当たりの利用金額はFOMAが752.8円、PDCが430.1円。コンテンツでは、小説とコミック、ゲームが伸びている。また、iモードメールの文字や背景などを自由に飾り付けできる「デコメール」の送信数が、2005年10月現在で6000万通に達した。iモードの月間情報料収入は160億円に上る。そのiモードよりビジネスの立ち上がり早いのが650万契約を突破したおサイフケータイである。FOMAの好調を背景にしたリッチコンテンツ市場の拡大に加え、リアルな生活シーンでの携帯電話利用を今後の収益拡大につなげていきたいと結んだ。

KDDI

コンテンツ・メディア事業本部の竹之内

剛氏は、コンテンツ市場は着メロが減少傾向にあるものの、着うたやゲームなどのブロードバンドコンテンツが市場全体を押し上げる形になってきており、年内にはゲームが着メロを超えると予想。電子書籍やeラーニングなどの拡充により、コンテンツプロバイダーへの新たなビジネス領域を提供していく考えを示した。利用者層としては、ダウンロード型コンテンツは若年層が、実用・情報取得型のコンテンツは高年齢層の利用が多くなっている。一方で、ダウンロード型コンテンツ利用の多い若年層でもブログの利用率は高くなっており、パケット料とBREWの利用率は比例している。アプリのダウンロードは8割がゲームで全体をけん引。着うたの累計ダウンロード数は2005年の8月末に2億5000万を突破、着うたフルも2005年の9月末に2000万ダウンロードを達成した。ワンセグへの対応としては、放送の「レスポンス誘発力」と通信による「レスポンス受容力」を双方にとっての「第3の収益」につなげていく。

PHS事業者と新規事業者とビジネス ウィルコム

ウィルコムは2005年5月に開始した音声定額サービス「ウィルコム定額プラン」により、加入者数が増加、ここ数年の上限であった300万を突破した。フルブラウザが搭載された新機種投入と共にオプションサービス「データ定額プラン」も開始。法人向けには2006年1月発売予定の日本無線の端末に指紋認証などのセキュアな機能を搭載する。PHS無線部分をモジュール化した「W-SIM」は玩

具や家電など潜在市場の開拓を目指す。さらにワイヤレスLAN内蔵の新端末「W-ZERO3」向けに新サービス「ウィルコム無線LANオプション」を開始。立石篤申事業促進部長は今後の展開として、音声サービスの積極的な事業展開、モバイルデータ通信分野のシェアの維持、W-SIMによる新たな市場の開拓を挙げた。現在の稼働台数を400万台にまで伸ばしていくことが当面の目標である。

アイビーモバイル

2GHz帯の周波数を使用する特定基地局の開設が認定されたアイビーモバイルは、2006年10月からサービスを開始する。同社が推進するのはTD-CDMA技術で、上下回線のリソースを柔軟に割り当てることができ、端末間通信が可能。IPに向いているTD-CDMAの特徴を活かしてデータ通信に特化し、2006年10月にカード型データ通信、組み込み型データ通信へ参入する予定だ。また、MVNOも展開、ISPを顧客にすることで端末や顧客獲得のリスクを低減する一方、回線料金を卸売価格で提供する。代



電子書籍やeラーニングなど新たなビジネス領域をコンテンツプロバイダーに提供すると語るKDDIの竹之内剛氏

表取締役の杉村五男氏は、サービスの一例として、多様な携帯端末が無線LANスポットになるという「PMG」(パーソナルメディアゲートウェイ)の概念を紹介した。そのインフラを作っていくことで、消費者向け端末が中心の現在の通信市場の構造が大きく変わると考えている。

イー・モバイル

同じく新規参入を果たしたイー・モバイルの諸橋知雄氏は、ブロードバンド接続をリーズナブルな価格で場所や状況に依存せずシームレスに提供できる環境がユーザーが真に求めるネットワークの形だとして、8.5兆円規模の移動体通信市場を今まで3社で独占していたことの不自然さを強調した。携帯電話の普及率を世界的に見たとき、100%を超えている国が10以上存在する。その中で日本での普及率は70.6%となっており、新たなマーケットを創造する必要がある。今後は、固定系との融合で、高速なデータ通信を重視したサービスや高付加価値アプリケーションサービスを提供したり、FMCを睨んでインフラのシームレス化を図っていく。

放送と通信の融合はケータイから

クアルコム

2006年末に米国で開始される MediaFLO(Forward Link Only)を紹介したクアルコムの松本徹三氏は、「放送と通信の融合はテレビとケータイの融合である」といい切り、電話と放送で新しい市場を

開いていくと意気込みを語った。MediaFLOは、リアルタイムのTV放送と蓄積型のクリップキャストの双方が見られる新放送サービスと位置付けられている。他のデジタル放送方式と比べて、チャンネル切り替えや電池効率が優れており、ワンセグより周波数の利用効率が高いという。CDMA2000/WCDMAの両方で使え、チップはすでにサンプル出荷が始まっているが、サービス開始には放送と通信の境界にある周波数帯の割り当てが必要になる。この方針は2006年7月に決められる予定だ。

コンテンツ・コマース事業者の戦略

ヤフー

ヤフーのモバイルオークションは2004年度は前年比478%の526億円。2005年度はさらに伸びる見通し。機能面では、PC版で可能なほとんどの機能がモバイルでも可能になっている。パケット定額制加入者の67%が毎日モバイル版「Yahoo!オークション」を利用している。ケータイでももちろん国内最大級だが、ケータイとPCのシームレスな連携が一番の強み。2005年12月上旬から「Yahoo!かんたん決済」が携帯電話に対応する。PCとケータイ間で利用できる個人間決済サービスでは業界初となる。

ニワンゴ

キャリア公式サイトとして着信メロディなどのコンテンツサービスを展開してき

たドワンゴが、携帯メール事業に乗り出し、新会社ニワンゴを設立。携帯メール利用を主体とした勝手サイト(一般サイト)を運営する。ニワンゴが目指すのは、「メールポータル」。ユーザーは知りたい情報(天気や乗り換え案内など)をメールでニワンゴに送信。ニワンゴは、その内容をデータベースで検索・照会して、結果を返信する。返信メールには広告が付帯され、ユーザーは無料で利用することができる。このサービスは2006年1月に開始予定。2ちゃんねるをはじめとする、コミュニケーションサイトとも連携する。

アナリストの分析

みずほコーポレート銀行のアナリストの梶村徹氏はモバイル業界の変革の潮流について講演を行った。キャリアの公式サイトが中心となっているモバイルサービスは、2007年頃には非公式サイトへの拡大、広告媒体の発達が進み、2015年頃には他メディアと融合・連動するであろうとした。インターネット広告の10分の1を占めているモバイル広告は、2008年から大きく伸びると予想している。しかし一方で、ここ数年ケータイユーザーの支出は頭打ちとなり、今後新規参入やFMCをきっかけに市場縮小が懸念され、株式市場も停滞感がある。モバイル市場の再加速へ向けて、広告やECの本格化などによる新たなモバイルメディアの構造作りや、MVNOの実現のために新たなキャリア間競争を進めていくことが求められていると指摘した。



ユーザーが求めるネットワークはリーズナブルな価格で固定も移動もシームレスにつながることで話すイー・モバイルの諸橋知雄氏



クアルコムの松本徹三(本身上級副社長)氏。MediaFLOは米国では2006年10月には試験放送が11月には一部都市で放送が開始される予定。

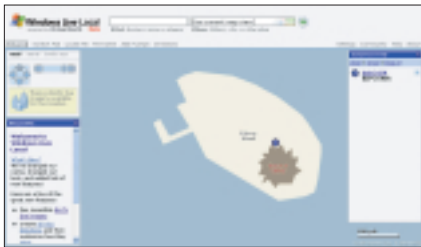


サービス初公開となったニワンゴは2ちゃんねるの管理人西村博之氏(右)を取締役に迎えている。左は代表取締役の杉本誠司氏。

米マイクロソフト、地図検索サービスのVirtual Earthを俯瞰表示が可能になった「Windows Live Local」として公開

米マイクロソフトは12月8日、地図情報サービス「Windows Live Local」のベータ版を公開した。今年7月に公開した「MSN Virtual Earth」から名称を変更し、斜め上空から撮影した俯瞰写真の表示機能などが追加された。

俯瞰写真が用意されているのは、ニューヨーク、ロサンゼルス、サンフランシスコ、ボストン、シアトル、ラスベガスなどの都市を含む、全米人口の約4分の1をカバーする地域。



プッシュピンを使って、自由の女神をマークしたところ。表示形式は地図を描画する「road」。

表示される写真は360度のパノラマ写真をシミュレートしており、ナビゲーションツールを使って東西南北の任意の方角から眺めることが可能。また表示倍率を拡大/縮小することもできる。

また、ユーザーが「プッシュピン」を使って表示されている地図に注釈を加えることができ、注釈付きの地図をメールで別のユーザーに送信する機能なども提供されている。

<http://local.live.com/>



表示形式「bird's eye」では、見る方角を指定して、上空斜め45度からの航空写真を表示できる。

米Yahoo!、ウィジェット実行環境の新バージョンを公開

米Yahoo!は12月12日、「Yahoo! Widget Engine 3.0」を公開した。これは、ウィジェットと呼ばれる小さなプログラムの実行環境で無償で利用できる。

Yahoo!のウェブサービスAPIに対応しており、Yahoo! Mapsと連携する「Yahoo! Maps Widget」、Yahoo!の各種検索機能が利用できる「Yahoo! Search Widget」など9種類のウィジェットも公開された。オープンプラットフォームであるため、サードパーティによるウィジェットの開発が期待される。

<http://widgets.yahoo.com/>



ウィジェットはJavaScriptなど標準的な技術で簡単に開発できるため、様々なものがある。

Web 2.0 的な取り組み「Yahoo! JAPAN デベロッパーネットワーク」がスタート Yahoo!の検索機能をウェブサービスとして外部の開発者に公開

Yahoo! JAPANは12月2日、開発者向けサービス「Yahoo!デベロッパーネットワーク」を開始した。

これは、Yahoo! JAPANが提供しているウェブサービスの技術仕様と機能を無料で公開するもので、外部の開発者はこれを利用した独自のウェブサービスを開発できる。

今回公開されるのはYahoo!検索(YST)のウェブ/画像/動画検索APIで、「はてな検索」など、このAPIを使ったサービスが早くも登場している。

Yahoo! JAPAN リスティング事業部 検索企画室 室長の井上俊一氏によれば、「Yahoo!はソーシャルメディアを目指しており、それに向けた活動の1つがYahoo!デベロッパーネットワーク」だという。

Yahoo!の考えるソーシャルメディアの要

素とは、「(ロングテールにおける)ヘッドコンテンツ テールコンテンツ」「ページビューやユニークユーザー数 滞在時間や顧客満足度」「大きな広告媒体 スモールパブリッシャー」など、重要視するものの変化であり、まさにWeb 2.0的といわれるものだ。

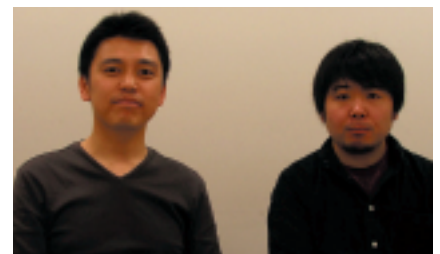
「Yahoo!の現在の立場やビジネスからすると意外かもしれないが、Web 2.0など



ウェブサイトでは、FAQやSDKのダウンロード、スタッフブログのほか、APIを利用したサイトが紹介されている。

今後の流れを考えると、外部開発者とのコミュニケーションは重要であり、最終的にはYahoo!とユーザーの双方にメリットをもたらすと考えている」という。GoogleやAmazonはすでにAPIを公開しているが、日本語の情報は少ない。Yahoo! JAPANでは、特に日本の開発者に向けた情報の充実を目指すとしている。

<http://developer.yahoo.co.jp/>



「どんどんYahoo!をハックして、私たちも驚くような面白いサービスを作ってほしい」と語る井上氏(左)と堀江大輔氏。

モバイルWiMAXの標準化が完了
IEEE 802.16e-2005として正式に承認

IEEE(米国電気電子学会)傘下のIEEE-SAは12月7日、WiMAXを拡張して移動体通信に対応させた通信規格である「IEEE 802.16e-2005」(モバイルWiMAX)を正式に承認した。

WiMAXは、従来の無線LAN「Wi-Fi」(IEEE 802.11a/b/g)が屋内やホットスポットといった限られたエリアでの利用を対象にしているのに対し、「MAN(メトロポリタン・エリア・ネットワーク)」と呼ばれる、より広範囲なエリアをカバーする。

WiMAXは、2001年12月に見通し環境での固定ワイヤレスアクセスを実現する技術として、IEEE 802.16が標準化。2004年6月には、見通し外環境での使用を想定したIEEE 802.16-2004が標準化されており、今回のモバイルWiMAXはそのアmendメント(追加・修正版)となる。

<http://ieee802.org/16/>

ライブドア、公衆無線LANサービスの
「livedoor Wireless」を正式に開始

ライブドアは12月1日、公衆無線LANサービス「livedoor Wireless」を正式サービスとして開始した。

試験サービスは8月1日に開始され、10月1日から正式サービスを開始する予定だったが、アクセスポイント設置工事の遅れなど理由から正式サービスを11月1日に延期。さらに11月1日の直前に2度目の延期が発表され、やっと12月1日に正式サービスが開始された。

月額利用料金は525円、初期費用は1,050円。サービスの利用には決済サービス「livedoorウォレット」の登録が必要だ。

なお、12月5日には、自分のlivedoor IDなどをあらかじめ入力しておき、プログラムを起動して接続ボタンを押すだけで接続できるツール「ConnectPartner for livedoor Wireless」が公開されている。

<http://wireless.livedoor.com/>

イー・アクセスがWiMAX推進室を設置
モバイルWiMAXで周波数獲得を目指す

イー・アクセスは12月1日、これまで進めてきたモバイルWiMAXへの取組みを本格化するために、本年付けでWiMAX推進室を立ち上げると発表した。

同社は、今年5月に第3世代携帯電話「W-CDMA」を補完するシステムとしてIEEE 802.16eに準拠したWiMAXの規格を総務省に提案。その後、IEEE 802.16eの実用化に向けての技術的検討を重ねてきた。

すでに、同社は米WiMAXフォーラムの会員となっており、また韓国WiBroフォーラムの正式メンバーとして参加することを決めている。

今後は、諸外国の動向とも連携を取りながら、日本における2.5GHz帯でのモバイルWiMAXの実現を目指し、商用展開のための技術開発や実証実験による検証を進めていくとのことだ。

「mixi」のユーザーが200万人を突破
127日間で100万人の増加

ソーシャル・ネットワーキング・サービス(SNS)の「mixi(ミクシィ)」を運営するイー・マージャリーは12月6日、ユーザー数が200万人を突破したと発表した。

mixiは、2004年2月に運営を開始して以来、ユーザー数が指数関数的に伸び、2005年8月1日に100万人を達成。12月6日には、ついに200万人を突破した。最初の100万人に到達するまでには、17か月と2週間を要したが、次の100万人は4か月と1週間(127日間)と、約4分の1の期間で達成したことになる。

同社では、ユーザー数の増加に伴うハードの増強と、ハードの増強だけに頼らない洗練されたシステム構成への移行など、パフォーマンス向上のために開発を続け、ユーザーの“居心地の良さ”を維持することに注力していくとしている。

<http://mixi.jp/>

ウィルコムが次世代PHSシステムの
開発に向けて予備免許を取得

ウィルコムは、次世代PHSシステムの開発・導入に向けた活動の一環として、無線局の実証実験のための予備免許を、11月29日総務省より取得したと発表した。

今後、実験免許を取得し次第、OFDMA(直交周波数分割多重アクセス)システムの伝送実験等を中心に、次世代PHSシステムの開発・導入に必要な情報の収集、評価活動を実施する計画だ。

第1期の実験(期間は1年間程度)では、虎ノ門地域のビル屋上に1か所、屋内に1か所のアンテナ、基地局実験設備を設置。次世代PHSシステムの中核技術の1つであるOFDMA技術を採用した実験システムを米Adaptix社の協力のもと構築して、屋外静止/屋内静止/屋外高速移動等の利用環境における伝送性能の評価を実施。更なる評価を目的とした第2期試験も検討している。

リンクシェア、iTunes Music Store
のアフィリエイトプログラムを開始

リンクシェア・ジャパンは12月12日、Appleの音楽配信サービス「iTunes Music Store(iTMS)」のアフィリエイトプログラムを開始した。ユーザーが自分のサイトなどでiTMSの楽曲を紹介し、そのリンクから楽曲が購入された場合、購入金額の4%が報酬として支払われる。

同社が従来から実施している「Apple Store」のアフィリエイトプログラムとは別扱いになるので、同プログラムに参加しているユーザーも、iTMSアフィリエイトプログラムに参加するためには、別途申請が必要となる。

iTMSのアフィリエイトプログラムは、iTMSのサービス開始日である8月4日にはすでにAppleのウェブサイトでもアナウンスされたが、実際のサービスは開始されていなかった。

<http://www.linkshare.ne.jp/>

iTunes Music StoreでNBC Universalの人気番組をビデオ配信 先行者としてリードをさらに広げる Apple

米 Appleは12月6日、iTunes Music Store(iTMS)におけるビデオ配信件数が、300万件を突破したことを発表するとともに、新たに米NBC Universalの人気番組をiTMSでビデオ配信開始することを明らかにした。

配信するのは、NBCの人気番組「Law & Order」「The Office」やトークショー「The Tonight Show with Jay Leno」、USAネットワークのエミー賞受賞番組「Monk」、Sci-Fi Channelの「Battlestar Galactica」、1950年代から現在までの娯楽番組「Knight Rider」「Alfred Hitchcock Presents」「Adam-12」など全11本。価格はこれまでと同様に、1エピソードにつき1.99米ドルとなっている。

iTMSでのビデオ配信サービスは、10月12日、MPEG-4/H.264対応iPodの発表と同時に公開された「iTunes 6」で対応

し、ミュージックビデオやピクサースタジオの短編、ABCの人気テレビ番組といった動画コンテンツを販売してきた。

Appleが新たなビデオコンテンツの獲得に注力する背景には、先陣を切ったビデオ配信ビジネスをさらに加速し、今後参入が予測されるYahoo!、Googleなどに先行して市場をリードしたいとの意向があるものと思われる。



iTMSでビデオ配信が新たに開始されたNBC Universalの人気番組。Appleが放送・通信融合の意外な先導となるのか。

Yahoo! JAPAN、ソニー・ミュージックの 楽曲を無料でストリーミング配信

Yahoo! JAPANは12月8日、無料のストリーミング配信サービス「Yahoo!ミュージック サウンドステーション」でソニー・ミュージックグループから提供を受けた楽曲の配信を開始した。

ソニー・ミュージックグループの参加により、同サービスでは、邦楽を配信する「Sony Music Domestic」と、洋楽を配信する「Sony Music International」の2チャンネルを提供する「ソニーミュージックステーション」を開設した。

また、アーティスト別チャンネルも合計13チャンネルを用意。邦楽では、平井堅、ケミストリー、中島美嘉、元ちとせなど、洋楽では、マイケル・ジャクソン、ビリー・ジョエル、フランツ・フェルディナンド、ジャミロクワイなどのアーティストをカバーしている。

<http://station.music.yahoo.co.jp/>

奈良先端大学、講義ビデオを ポッドキャスト配信する実験を開始

奈良先端科学技術大学院大学は、12月1日より大学で行なわれている講義のビデオをポッドキャストで配信する実験を開始した。

奈良先端科学技術大学院大学では、4月から情報科学研究科の全講義を電子図書館の授業アーカイブに蓄積し学内で利用するサービスを行ってきたが、今回は、この授業アーカイブを、ポッドキャストで配信するもの。

ポッドキャストの利用により、アーカイブに新しい講義ビデオが追加されたことを

学生に通知できるようにになった。



講義ビデオをiPodで再生したところ。スライドの内容もある程度把握できる。

NHKがポッドキャストで 10周年記念キャンペーン情報を配信

日本放送協会(NHK)は、ポッドキャストサービス「週刊メンバーズガイド」でNHKのウェブサイト開設10周年を記念した“ここだけ”“いまだけ”キャンペーンの情報を配信開始した。

更新は毎週火曜日。BS番組「BSファンクラブ」でナビゲーターを務める松島優理、情報マンの石倉清史がキャンペーンのラインナップを紹介する。

一方、ニフティの「ココログ」では、正月番組「新選組」の情報もポッドキャストされていて、こちらも要注目。

<http://www.nhk.or.jp/members/podcast/>



週刊メンバーズガイドは誰でも利用できる。

ニフティ、ビデオポッドキャストに 対応した「Podcast Juke」を提供

ニフティは11月17日、音声とビデオポッドキャストも対応したソフト「Podcast Juke (ポッドキャスト ジューク)」ベータ版の提供を開始した。

「Podcast Juke」を利用すると、サイトから配信される音声・映像のファイルを自動的に受信し、「iTunes」と「Windows Media Player」へのファイル転送ができる。

利用料金は無料。推奨OSは、Windows 2000 SP3以上およびWindows XP SP2。Microsoft .NET Framework 1.1以上がインストールされている必要がある。

<http://www.podcastjuke.jp/podcastjuke/>



Podcast Jukeを起動したところ。[入手] ボタンを押すとダウンロードが開始され、ダウンロード後は、ダブルクリックでプレイできる。

PSPがポッドキャストに対応 無線LAN経由での視聴が可能に

ソニー・コンピュータエンタテインメントは11月29日、「プレイステーション・ポータブル(PSP)」向けの最新ファームウェアを公開した。今回のバージョンアップでは著作権保護機能に対応し、動画コンテンツをPSPに直接ダウンロードできるようになった。動画配信サービス「Portable TV」のコンテンツも直接ダウンロードできる。

また、ネットワーク機能にRSSチャンネルが追加され、ポッドキャストなどRSS 2.0で配信されるMP3やMP4(AAC)形式の音声ファイルをストリーミング再生できるようになった。

ポッドキャストはストリーミングのみの利用が可能で、メモリーに保存することはできない。



MTVとマイクロソフトが共同で音楽サービス「URGE」を2006年に開始

米MTVネットワークスと米マイクロソフトは12月13日、デジタル音楽サービス「URGE」を2006年に開始すると発表した。同サービスは、マイクロソフトのWindows Media Player(WMP)次期バージョンに統合されるという。URGEでは、メジャーレーベルとインディーズレーベルの楽曲200万曲以上を用意し、あらゆる音楽ジャンルをカバーする。

マイクロソフトのバイスプレジデントブレア・ウエストレイク氏は、「わが社のデジタルメディアにおける先進的技術とMTVの音楽分野におけるリーダーシップとマーケティングのノウハウが会うことで、よりパワフルで新鮮な体験を生み出したい」と語った。

サービスの詳細は、2006年1月5～8日にラスベガスで開催される「2006 International CES」で発表される予定だ。

ITSスマートモールの、地上デジデータ放送を利用して地域情報を配信 デジキャストが開発したメール配信技術を活用

市街地や商店街等での情報交流のためITSの総合活用を検討するプロジェクト「ITSスマートモール」は、12月12日より本年度末まで、地上デジタルデータ放送を利用して街角情報を提供する「TVメルマガ」等の実証実験を行う。

この実験に参加するのは、ITSスマートモール検討会メンバーである名古屋テレビ放送(メ〜テレ)とジュー・データシステムズ、およびデジタルデータ放送局のデジタル・キャスト・インターナショナル(デジキャスト)、駐車場の運営・管理を行うパーク24の4社。

実証実験では、デジキャストが開発した電子メールをBML(Broadcast Markup Language)に変換する新技術を使って、ITSスマートモール検討会が収集したグルメ、ファッション、生活、イベントなどの街角情報を、メ〜テレ地上デジタルデータ

放送の画面に重ね合わせて表示する。

システム的には、収集した街角情報を、いったんジュー・データシステムズのDBサーバーに蓄積、メ〜テレが、放送スケジュールなどのデータをDBに登録、蓄積されたデータを電子メールによってデジキャストに転送、デジキャストの新システムで電子メールのデータをBML形式に変換、メ〜テレが試写して確認、といったステップで運用される。

利用者は、地上デジタル放送を視聴する際に、同時にインターネットを経由してデジキャストのサーバーに接続し、街角情報データを受信することで「TVメルマガ」を見ることが可能になる。

この実証実験では、ほかにパーク24が提供する近隣駐車場のリアルタイム満空情報等を地図とともにデータ放送に配信する実験も行われる。

RSS広告社、コンテンツマッチ 広告配信Webサービスを開発

RSS広告社は、あらゆるウェブサイト/ウェブアプリケーションでコンテンツマッチ広告を配信することができるサービス「RAWS(RSS Ad Web Service)」を開発すると発表した。同社によると、ウェブサービスを用いたコンテンツマッチ広告配信サービスは世界初とのこと。2006年1月にベータ版を提供する予定だ。

仕組みは、コンテンツ提供者が、コンテンツにマッチさせたい文章やサイトのURLまたはRSSをコンテンツマッチサーバーに送信、コンテンツマッチサーバーが、送信されたコンテンツに関連性の高い広告主の広告を自動的に抽出し、広告の原稿と飛び先のURLをXML形式で配信、コンテンツプロバイダーは、配信されたXMLデータから広告を生成してコンテンツ中に表示するというものだ。

<http://www.rssad.jp/>

ブログの楽しさを伝えるために ニフティが「ブログ普及委員会」を発足

ブログサービス「ココログ」を運営するニフティは、より多くの人にブログを楽しんでもらうための委員会、「ブログ普及委員会」を12月5日に発足した。

委員長には、自らもブログを活用するタレントの眞鍋かをり氏を向かえ、ムービーを使って解説する「眞鍋式ブログ講座」や、出題されるテーマに合わせて記事を書く「答えてブログ」など、ユーザー参加型のコンテンツも提供する。

<http://blogfukyu.jp/>



「ポッドキャストや動画にも挑戦したい!!」と意気込む委員長の眞鍋かをり氏。

20歳後半が支える「待ちメロ」人気、進む端末販売ルートの変革 中国ケータイ市場を消費者と流通ルートから読み解く

中国の携帯電話市場が伸び盛りだ。ユーザー数は4億に迫り、1日に中国本土で発信されるショートメッセージ(SMS)の数は5億通に上るといわれている。今、この巨大マーケットで何が起きているのだろうか。

ここでは、博鋭創智ネットワーク科技(北京)有限公司(Observantech China社)がまとめた中国のIT市場に関する調査レポートから、ケータイ市場動向の最新情報を紹介する(同レポートは、2005年1月下旬にインプレスから3冊にまとめられて発売される予定)。

リピーターの多い待ちメロ利用動機に見られる中国人らしさ

最近、中国の携帯電話ユーザーに電話をかけると、相手が通話に応じるまでの間に鮮やかな音色で最新のポップソングが聞こえてくることが多い。着信側のユーザーが自らお金を払って、好きなメロディーを設定する待ち受けメロディー(Coloring Ring Back Tone)だ。

中国では、この「待ちメロ」サービスの利用者数が急速に増えており、その市場規模はいずれ着メロを追い抜くと見られている。IT市場調査会社「CCW RESEARCH」(本社北京市)が今年4月から5月、中国の27省・自治区・直轄市で行ったユーザーアンケートの調査結果によると、調査回答者の30%が待ちメロを1回以上設定した経験があった。年齢層別の利用経験率では、26歳から30歳が49%と最も高かった(グラフ参照)。

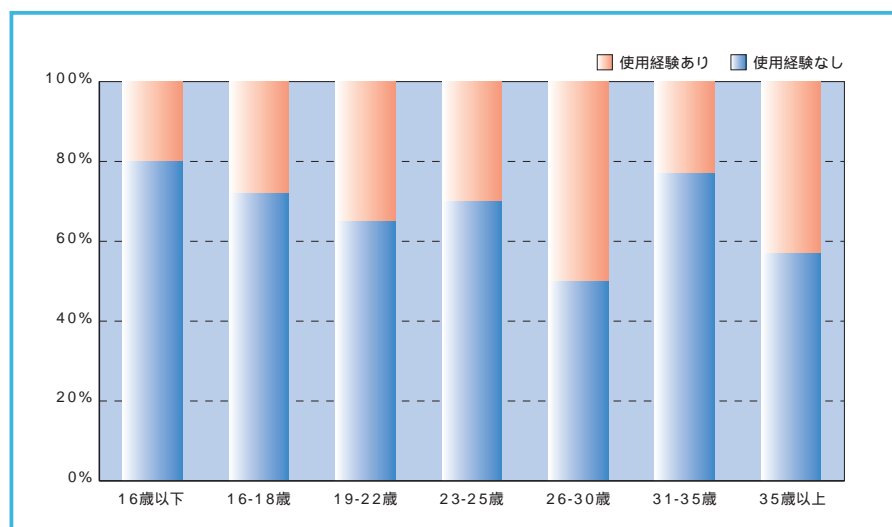
待ちメロ利用者にはリピーターが多く、51%は1か月以内に最低1回はメロディーを変更している。利用動機については、「好奇心(41%)」「ファッション(34%)」が上位に来る一方、「周囲の友人も使っているから(8%)」という理由は少なく、自己を重んじる中国人らしさが出てきているといえる。

外資と国内端末メーカーの販路改革が与える影響

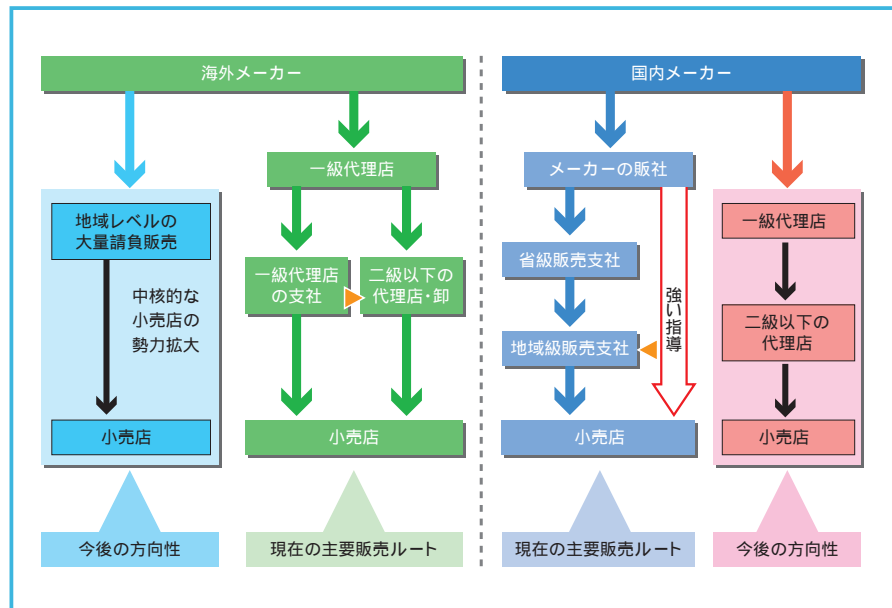
中国らしさということは、携帯電話端末の販売ルートにも見える。日本とは異なり、端末は通信事業者を経由せずに販売されるため(SIMカード方式)、端末メーカーの販売チャネル戦略が勝敗の鍵を握っている。そのため、中国本土市場の販売シェアは、技術力の優れた外資メーカーが、小売店への支配力に強さを誇る国内メーカーに押されてきた。

しかし、外資メーカーは巻き返しを狙って、家電流通市場で新たに勢力を伸ばしつつある大手家電量販店と組み、販路拡大に取り組んでいる。一方、国内メーカーは利益率を高めるために、複雑な流通ルートを簡素化しようとしている(図参照)。こうした流通チャネル改革が日本を含む外資系端末メーカーにどう影響を与えるか。今後の展開に目が離せない。

博鋭創智ネットワーク科技(北京)有限公司



「待ちメロ」利用経験のアンケート調査結果(2005年4月-5月)。出典：IT第一調査 2005/5



中国の携帯電話端末、販売チャネルのトレンド変化。出典：Observantech China

新規ドメイン取得無料、月額換算 1,000 円以下のサービスが登場
マイクロソフト「スタート・マイ・ドメイン」キャンペーン開始

マイクロソフトは、レンタルサーバー事業者 5 社と協力して、11月1日から「スタート・マイ・ドメイン」キャンペーンを開始した。

キャンペーンに参加しているのはカゴヤ・ジャパン、コザック、GMO ホスティング & セキュリティ、データ・ジャパン、ファーストサーバの 5 社で、それぞれ新サービスの提供を同日から開始した。

このサービスでは、新規ドメインの取得費用が無料で、月額に換算した利用料が 1,000 円以下となっている。また、サービスによっては DotNetNuke、Community Server、Site Builder などの、ASP.NET による高機能なウェブサイト構築・運用ツールが利用できるようになっており、これまでレンタルサーバーを利用していなかった初心者 / ライトユーザー向けのサービスとなっている。

「スタート・マイ・ドメイン」参加企業 (サービス名 / 提供企業)

・ドサバ / カゴヤ・ジャパン

<http://www.dosaba.com/>

・cervi / コザック

<http://cervi.jp/>

・WINish / GMO ホスティング & セキュリティ

<http://win.isle.jp/>

・ActiveWeb / データ・ジャパン

<http://www.activeweb.jp/>

・パーソナルデベロッパーズプラットフォーム / ファーストサーバ

<http://www.mydomain.jp/>

「スタート・マイ・ドメイン」キャンペーン

<http://www.microsoft.com/japan/serviceproviders/mydomain/>

プロトン、「DeviceLock V5.7」を発売
アクセス制御で情報漏洩を防ぐ

プロトンは 12月14日、デバイスアクセスコントロールソフトの最新版、「DeviceLock V5.7」の販売を開始した。

DeviceLock は企業や組織内部からの情報漏洩対策を目的に、米 SmartLine 社が開発。PC やサーバーの USB、CD-R/DVD-R、Bluetooth など、目的のデバイスを選択するだけでアクセス制御の設定が可能だ。

V5.7 では、従来の制御機能に加え、デバイスのアクセス操作履歴を表示する監査ログ機能や、特定の USB デバイスのみにアクセス許可を与える WhiteList 機能などを新たに追加した。また、大規模ネットワーク向けの Enterprise Manager を搭載し、リモートインストールができる。

価格は保守料込みで 5 ライセンス 45,675 円(税込)から。

<http://www.proton.co.jp/>

Event Calendar

これから開催される国内外の主要な IT 関連イベントをご紹介します。イベント情報掲載希望の方は、次のメールアドレスまでご連絡ください。
im-release@impress.co.jp

期日	名称	場所	URL
1/6-1/8	International CES	ラスベガス(米国)	http://www.cesweb.org/
1/9-1/13	Macworld Conference & Expo 2006	サンフランシスコ(米国)	http://www.macworldexpo.com/
1/17-1/19	2006 IEEE Radio and Wireless Symposium	サンディエゴ(米国)	http://rawcon.org/
1/18-1/19	4G & IEEE802 WORLD	大手町サンケイプラザ	http://www.ric.co.jp/expo/ieee2006/
1/24-1/25	STORAGE NETWORKING WORLD Tokyo 2006	新宿 NSビル	http://www.idg.co.jp/expo/snw/
1/25-1/27	FC EXPO 2006(第2回国際水素・燃料電池展)	東京ビッグサイト	http://www.fcexpo.jp/
2/1-2/3	NET&COM 2006	東京ビッグサイト	http://expo.nikkeibp.co.jp/netcom/
2/8-2/9	2006 Media Summit	ニューヨーク(米国)	http://www.digitalhollywood.com/MediaSummit.html
2/13-2/16	3GSM Congress	バルセロナ(スペイン)	http://www.3gsmworldcongress.com/
2/22-3/3	APRICOT	パース(オーストラリア)	http://www.2006.apricot.net/
3/1-3/3	Oracle OpenWorld Tokyo 2006	東京国際フォーラム	http://www.oracleopenworld.jp/
3/6-3/9	Emerging Technology Conference	サンディエゴ(米国)	http://conferences.oreillynet.com/etech/
3/7-3/10	SECURITY SHOW 2006	東京ビッグサイト	http://www.shopbiz.jp/pages/t_index.phtml?PID=0003&TCD=SS
3/9-3/15	CeBIT	ハノーバー(ドイツ)	http://www.cebit.de/
3/15-3/16	第5回ケータイ国際フォーラム	京都パルスプラザ	http://www.itbazaar-kyoto.com/forum/
4/3-4/6	LinuxWorld Conference & Expo 2006	ボストン(米国)	http://www.linuxworldexpo.com/live/12/events/12BOS06A
4/5-4/7	CTIA WIRELESS 2006	ラスベガス(米国)	http://www.ctiawireless.com/
4/20-4/21	Search Engine Strategies 2006 Conference & Expo Japan	東京ファッションタウン	http://www.idg.co.jp/expo/ses/
4/22-4/27	NAB	ラスベガス(米国)	http://www.nabshow.com/

上記の情報は変更になる場合があります。応募・参加の際には必ず主催者にお確かめください。



[インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ] ご利用上の注意

このPDFファイルは、株式会社インプレスR&D(株式会社インプレスから分割)が1994年～2006年まで発行した月刊誌『インターネットマガジン』の誌面をPDF化し、「インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ」として以下のウェブサイト「All-in-One INTERNET magazine 2.0」で公開しているものです。

<http://i.impressRD.jp/bn>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、URL、団体・企業名、商品名、価格、プレゼント募集、アンケートなど)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真の撮影者、イラストの作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は収録されていない場合があります。
- このファイルやその内容を改変したり、商用を目的として再利用することはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用する際は、出典として媒体名および月号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレス R&D)、コピーライトなどの情報をご明記ください。
- オリジナルの雑誌の発行時点では、株式会社インプレス R&D(当時は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めましたが、すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接のおよび間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

このファイルに関するお問い合わせ先

株式会社インプレスR&D

All-in-One INTERNET magazine 編集部

im-info@impress.co.jp